

行ってみよう！やってみよう！
お出かけガイド
 イベント・講座情報

このコーナーでは、市内で開催されるイベントや講座などを紹介します。

お持ち帰り弁当始めました
 自分好みの弁当を作ってみませんか



1月9日(水)から、好きな料理を容器に詰めて持ち帰れる「お持ち帰り弁当」がのじりこびあレストランで始まりました。事前に購入(500円)する専用の容器にバイキング料理を詰めて、自分好みの弁当を作ってみてはいかがでしょうか。なお、レストラン内での飲食はできませんのでご注意ください。◆利用時間=11時~14時(平日限定) ●問=のじりこびあ TEL 44-3000

のじりこびあレストランで始まりました。事前に購入(500円)する専用の容器にバイキング料理を詰めて、自分好みの弁当を作ってみてはいかがでしょうか。なお、レストラン内での飲食はできませんのでご注意ください。◆利用時間=11時~14時(平日限定) ●問=のじりこびあ TEL 44-3000

平成30年度教育フォーラム
 アットホームな雰囲気で開催



「学校・家庭・地域の教育フォーラム」 in TENAMU を開催します。◆日時=3月10日(日)10時~12時◆場所=TENAMUビル2階交流スペース◆駐車場=文化会館ほか◆内容=学校教育・地域教育・家庭教育事例発表、絵本の読み聞かせ、市内小学生の落語披露など◆入場料=無料 ●問=社会教育課 TEL 22-7912

第6回宮崎こばやし熱中小学校オープンスクール
 「もういちど、7歳の目で世界を」

大人の学びの場「宮崎こばやし熱中小学校」の第6回オープンスクールを開催します。熱中小学校は、「もういちど、7歳の目で世界を」をキャッチフレーズに、講師と参加者との交流に根ざした新しいチャレンジを生み出す場所です。それぞれの業界で活躍している一流の講師陣の授業を、ぜひ受講ください。◆日程=2月16日(土)13時~17時15分◆場所=KITTO 小林2階交流スペース◆対象=学びや交流に興味のある人、新しいことにチャレンジしたい人◆講師=1時間目:山井太先

生(株式会社スノーピーク代表取締役社長)、2時間目:神山恵美子先生(帯広コア専門学校理事長)、3時間目:中村寛治先生(株式会社ヒューマンセントリックス代表取締役)◆参加費=無料◆申込方法=右のQRコードから専用メールフォームに進み、氏名(ふりがな)、住所、性別、年齢、電話番号/携帯電話番号、ファックス番号、メールアドレスを入力して申込みください。また、電話でも受け付けます。●申・問=宮崎こばやし熱中小学校事務局 TEL 48-5558

▼ホームページ



▼メール申込フォーム



シリーズ
学校の働き方改革
 先生が子どもとじっくり向き合うために Vol.6

日本全体で加速する「働き方改革」。義務教育の場、小中学校でも「待たなし」の変化が求められています。今、教育現場はどうなっているのか。長時間労働を是正しながら、教育の質を高めるには何が必要なのか。シリーズを通し考えていきます。



教員から依頼を受け、入試対策の問題を生徒の数だけ印刷し、製本する小田さん。

市教育委員会では、今年度から、プリントの印刷や製本、データ入力、行事の準備など、教員の事務作業を代行する「サポートスタッフ」をモデル配置しました。小林小学校、小林中学校の2校に2人ずつ配置。代行できる業務の種類、教員のニーズや、教員とサポートスタッフの連携方法など、その効果や運用について検証しています。

サポートスタッフの効果や運用を検証

学校の教員の約3割、中学校の教員の約6割が「過労死ライン」を上回る時間外労働をしている実態が公表されました。中でも「授業準備」や「成績処理」に関する事務は、10年前の前回調査よりも増加。平成29年に文科省が発表した緊急対策では、「授業準備」や「学習評価・成績処理」に関する事務は、「教員の業務だが、負担軽減が可能な業務」と明確に位置づけられ、その補助的業務は、サポートスタッフなどの積極的な参画が示されました。

教員の負担軽減により教育の質の向上に

全国の学校で、教員が休み時間や放課後にコピー機に列をなす姿や勤務時間外や休日に印刷や製本などを行う実態があります。サポートスタッフは、こういった時間の短縮

で、教材研究や授業準備、そして何よりも「子どもと向き合う時間」に充てられるメリットが見込まれます。

小林中の日高弘之教頭は「サポートスタッフには非常に助かっています。印刷物が増える入試前の時期は製本まで追いつかないこともありましたが、しっかりと製本まででき、教員だけでなく生徒にも還元されています」と活躍を評価。小林中のサポートスタッフ小田加奈さんは「多忙な先生たちを支える仕事はやりがいがあり、喜んでくださることが何よりうれしい。できることは何でもしたい」と意気込んでいます。

直接生徒にも還元されています

小林中学校は生徒数も多いので、全生徒向けの学校便りや案内文書などを作って配布する教頭の立場の自分が一番助かっているかもしれません。アンケートの集計なども手伝ってもらいました。入試前の今は、プリントの印刷と製本が非常に多くなる時期。サポートスタッフの働きは、教員の負担軽減だけでなく、直接生徒にも還元されています。



小林中学校
 ひだかひろゆき
 日高弘之 教頭

忙しい先生のためにできることを

学校現場で働いて、学校の先生は本当に忙しい仕事だと改めて思いました。印刷物などを持って行くと、「これまでは夜や土日にやっていた」と、本当に喜んでくれるので、やりがいがあります。先生は突発的なことへの対応や授業以外の指導など、毎日計画どおりに進まない仕事なので、先生たちが喜んでくださることは何でもしたいと思っています。



スクールサポートスタッフ
 おだかな
 小田加奈さん

**事務作業をサポートし、教員の負担減に期待
 市内2校に「サポートスタッフ」をモデル配置**